



南舞鶴自治連合会
会長 田中 幸男 さん

住宅の家主さんとは高齢者サロン「ハナミズキ」を立ち上げたときに一緒に活動していました。しばらく空き家になっていたのですが、市から「お試し住宅」のお話があり、昨年11月にあった住民説明会で舞鶴高専の学生さんから改修プランを聞きました。しばらく空き家でしたし、市も移住定住施策に力を入れておられることもあり、地域としても新しい人が来てもらえるなら何かお手伝いしたいと思いました。年明けの改修工事までに家財道具の片付けを済ます必要があったことから、敷野地区内の6組と7組を中心に声を掛け、7、10人が集まってくれました。高専の学生

さんや市役所の皆さんと一緒に片付けを手伝いました。敷野地区は農山漁村とは少し違って比較的「まちなか」です。学校も近く病院やスーパー、駅も歩いて数分で行けるので便利で生活しやすい地域です。入居される人は、舞鶴なんて知らない土地でしょうし、おそらく手探り状態だと思っています。ごみの出し方など生活に慣れるまでは大変でしょう。そんな中、こちらから無理に声をかけて近づいていくと気持ち的にも負担になるかもしれないですね。気軽に尋ねてもらえば親身に相談に乗ったりして関わりたいと思っています。こちらからアピールし過ぎず自然と解け込んでもらえたら良いと思います。また、通学時の集合場所から学校の校門まで見守り活動をしながらいさつなどの声掛けをしているので、この活動をきっかけに、子どもとの関わりから、保護者の方へ関わられたらと思います。また、地域行事に参加してもらえるとお互い会う機会が増えて良いのではないかと思います。

03 interview

地域としても 移住定住施策に貢献したい



上) 完成したイメージ模型。玄関より右側が広いリビング、左側に個室スペースを配置。
右) イメージ模型を基にコンセプトを解説。左から尾上教授、井上さん、柳沢さん、田中さん。

第2号の住宅は、敷野自治会にある比較的まちなかの物件で庭付き木造平屋建て。舞鶴高専建設システム工学科尾上研究室の学生・研究生が改修プランを作成。コンセプトは「舞鶴らしい暮らしが体感できること」。田舎であり地方都市でもある舞鶴の「ほよいゆとり」がある暮らしが体感され、自然の気持ちよさと地域のコミュニティを感じやすいようにとの思いが込められ設計されました。現地調査で天井にしっかりと梁を発見。覆っている天井を外し、構造を見せることで既存の風合いを生かしつつ開かれた空間を重視。また、第2号住宅の入居予定者は「子どものいる家族」を想定しているため、個室計画を考える必要があったが、西側にある田の字の部屋を利用し、主寝室と子ども部屋を配置。子どもの成長や家族構成の変化に対応できるように自由度を持たせました。入居者が地域に溶け込みやすいように開いた住宅としてどのように設置するべきか。また、世帯と地域、家族内のプライベートとの関連の線引きも踏まえ、設計プランを考え、コンセプト決定後は議論を重ねながらイメージ模型を完成させました。

02 interview

コンセプトは 舞鶴らしい暮らしを体感



第2号の住宅は、敷野自治会にある比較的まちなかの物件で庭付き木造平屋建て。舞鶴高専建設システム工学科尾上研究室の学生・研究生が改修プランを作成。コンセプトは「舞鶴らしい暮らしが体感できること」。田舎であり地方都市でもある舞鶴の「ほよいゆとり」がある暮らしが体感され、自然の気持ちよさと地域のコミュニティを感じやすいようにとの思いが込められ設計されました。現地調査で天井にしっかりと梁を発見。覆っている天井を外し、構造を見せることで既存の風合いを生かしつつ開かれた空間を重視。また、第2号住宅の入居予定者は「子どものいる家族」を想定しているため、個室計画を考える必要があったが、西側にある田の字の部屋を利用し、主寝室と子ども部屋を配置。子どもの成長や家族構成の変化に対応できるように自由度を持たせました。入居者が地域に溶け込みやすいように開いた住宅としてどのように設置するべきか。また、世帯と地域、家族内のプライベートとの関連の線引きも踏まえ、設計プランを考え、コンセプト決定後は議論を重ねながらイメージ模型を完成させました。

設計者インタビュー



井上祐樹さん
舞鶴高専建設システム工学科5年

入居される人は市外から来られます。この地域の人と関わりやすいようにどのように設計したらよいか考えました。

また、光が入りにくい家であったため、どうしたら光を取り込みやすいかも考えました。もともと奥に行くにつれて光が入りにくくなっていたので窓の配置などを考えて光を送りつつ風の流れも取り込めるよう設計しました。



田中甫さん
舞鶴高専建設システム工学科5年

3人の設計プランを持ち寄ってメリットやデメリットを話し合いました。ときには話し合いが過熱して口論になりそうにもなりましたが、結果として良いところを混ぜ合わせたコンセプトが完成しました。

生活していく中で住みやすく、苦勞がないようにリビングを広く確保できるよう設計しました。



柳沢大樹さん
舞鶴高専建設システム工学科研究生

地域の人や市役所の人など、多くの人に手伝ってもらい工事着工を迎えました。

地域や行政、そして舞鶴高専など全体で取り組むことも大きな目的だったので、今回は多くの人に関わってもらえて良かったと思います。特に地域の方が頑張ってくれて取り組んでおられました。入居されたら少しでも早く地域になじんでもらえたらうれしいです。

お試し住宅第1号を紹介



浜地区にあるお試し住宅第1号は、旧海軍宿舎として昭和13年に建てられた木造平屋建て住宅。舞鶴高専の学生の改修プランを基にリフォームしました。前庭から眺めた住宅は当時の面影を残しつつ現代の生活スタイルに合うように生まれ変わりました。

入居者は市内でカフェを営まれています。

お試し住宅第2号の入居者を募集

現在整備中のお試し住宅第2号の入居者を募集しています。主な要件は◇市外に住所を有する人で、本市への移住(転勤または婚姻による転入予定者を除く)を検討している◇子ども(18歳未満)が2人以上いる入居者が望ましいなど(その他要件あり)。

市外にいる身内や友人で、舞鶴へU・Iターンなどの移住を考えている人がいる場合は、ぜひご紹介ください。

空き家バンクへのご登録を

市では、今回紹介したお試し住宅のほか、空き家を活用した移住定住施策として「空き家バンク制度」を実施中。JR東・西舞鶴駅付近の「まちなかエリア」と市街化区域以外の「農漁村エリア」にある空き家があればご登録をお願いします。

同バンクへ登録すると、物件の紹介や地域との調整など、移住希望者と空き家提供者との契約がスムーズに進むよう市がサポートします。

▶詳しくは、移住・定住促進課(☎66・1085)へ。